

## 国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成28年度第6回）

1. 日 時 平成29年3月16日（木）15：00～17：00
2. 場 所 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 井上委員，北橋委員，工藤委員，高原委員，谷委員，辻委員，松岡委員  
（五十音順）  
学長，理事（教育・学生担当），理事（研究・産学連携担当），  
理事（財務・評価・情報担当），理事（総務・労務担当），  
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 羽野監事，林田監事，副学長（国際担当），副学長（入試・広報担当），  
学長特別補佐（男女共同参画担当），教養教育院長

### 5. 会議成立

構成員18名のところ，15名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

### 6. 議事録の確認

平成28年度第5回経営協議会（平成29年1月17日）の議事要旨の確認について説明があり，了承された。

### 7. 審議事項

#### (1) 中期計画の変更について

（資料2）

学長から，前回承認いただいた中期計画における若手教員比率の数値目標について，補助事業申請時の数値目標と齟齬がないよう文部科学省から指導を受けたことに伴い，改めて中期計画を変更することについて説明があり，審議の結果，了承された。

#### (2) 平成29年度年度計画（案）について

（資料3）

理事（財務・評価・情報担当）から，平成29年度年度計画（案）について説明があり，審議の結果，了承された。

なお，学長から，3月末までに文部科学省に提出することとなるが，軽微な修正については一任いただきたい旨説明があり，了承された。

また，下記のとおり各委員と意見交換があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

○：ポートフォリオは導入しているのか。

△：学生にフィードバックできる環境まで整備しており，大学生活全般を記録したシステムが運用できるよう今後取り組んでいきたい。

○：教員の20%を海外学位取得者・外国出身者・海外教育研究経験者とすることについて，実現可能性はあるのか。

△：海外の大学等で1年以上教育研究の経験を積ませる教員の海外研修を引き続き実施し，海外教育研究経験者の増加を図ることで，達成できると考えられる。

- ：カタカナ表記について、一般的には理解が難しい印象がある。
- ：大阪府立大学では用語集を作成することで対応している。
- ：北九州市では市内に就職する学生に対し、奨学金の返済免除制度を設けているが、独自の就学支援策はあるのか。
- △：国からの支援以外にも、今年度から基金制度を設け、支援できる体制を整備したところであり、北九州市が実施する制度についても、学内で周知していきたい。

**(3) 平成29年度学内予算編成方針について (資料4)**

理事（財務・評価・情報担当）から、第3期中期目標期間においては、運営費交付金の削減が見直されたことに伴い、財政状況に見通しがたった旨説明があった。引き続き、平成29年度学内予算編成方針について説明があり、審議の結果、了承された。

**(4) 就業規則の改正について (資料5)**

理事（総務・労務担当）から、以下に係る就業規則の改正について説明があり、審議の結果、了承された。

- ①人事院勧告に伴う扶養手当の改正、年俸制教育職員、専門職員の俸給表の改正
- ②専門職教員の給与に関する改正
- ③法定労働時間に達するまでの超過勤務手当の取扱いに関する改正

**8. 報告事項**

**(1) 平成29年3月卒業（修了）予定者の進路状況（2月末時点）について (資料6)**

理事（教育・学生担当）から、2月末時点での就職状況について、前年度と比べほぼ同程度の就職率（99.7%）である旨報告があった。

なお、下記のとおり各委員と意見交換があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

- ：地元就職率が伸び悩む要因は、いかがか。
- △：本社（東京）勤務の者が多いと考えられる。
- ：起業する者はいるのか。また、それらを支援する制度はあるのか。
- △：今年度は1名の学部卒業生がいる。学内にインキュベーション施設を設け支援しており、この卒業生もそれを利用していた。
- ：学内で起業者を育成する場合、ベンチャーキャピタルとのつながりも大切になる。
- ：北九州市を起業しやすい街にしようとして取り組んでおり、特に女性向けのプログラムもあるので、積極的に活用いただきたい。

**(2) 平成29年度九州工業大学入試状況について (資料7)**

副学長（入試・広報担当）から、平成29年度の入試状況及び、入試制度改革に向けた本学の取組状況について、報告があった。

(3) 平成28年度の振り返り（知を繋ぎ、地で繋ぎ続ける九州工業大学に向けて） (机上配付)

学長から、平成28年度における本学の取組状況について、報告があった。

なお、下記のとおり各委員と意見交換があった。

(○：学外委員，△：学内委員)

○：トビタテ留学JAPANへの採択状況はいかがか。

△：これまで数名の学生が採択され、経験を積んでいる。募集があるたびに申請しているが、採択者が少ないため、今後は増えて行くことを期待する。

○：法人化当初から教員人事を部局に任せずに役員会で実施する等、人事に関する取組は先進的で、今年度創設した人財活性化推進会議も素晴らしい取組をなされていることから、対外的にもっとアピールしていくとよい。

○：北九州市とコラボしたプログラムが文部科学省から支援を受けることとなったことは、地元自治体として大変意義がある。

また、幹部懇談会についても、貴学との一層の連携強化のために、今後ともしっかり取り組んでいきたい。

## 9. その他

(1) 平成29年度経営協議会の開催日程について (資料8)

総務課長から、平成29年度経営協議会の開催日程について、説明があった。